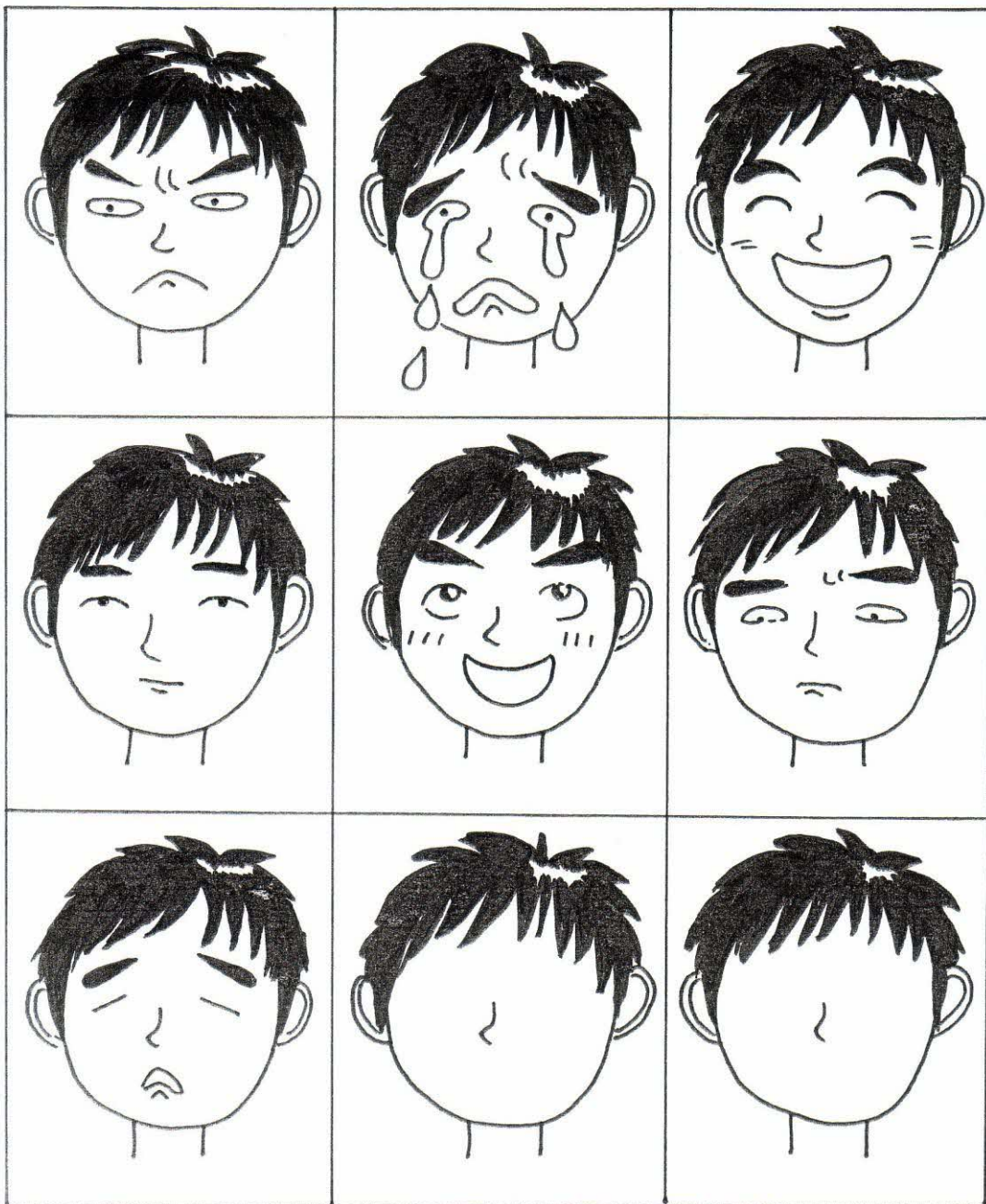


【5】

今、子どもに伝えたいこと
(自尊感情を育む)

【学習資料】子どもの表情カード



*子どもの表情カードは、学習の流れによって5枚でもよい。また、表情を変えることもできる。

【学習のポイント】

- 子どもの表情から、日頃の言葉かけを手掛かりに、子どもの自尊感情を育むために保護者はどのように関わっていくのかについて考える。
- いじめに向かわない子どもを育てるために保護者同士が語り合い、共通理解と役割を考える。

【すすめ方（90分）】

流れ	分	主 な 活 動	主な発問	留意点
導入	5	1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。 ・話合いのルール確認	■本研修会のねらいや進め方について説明する。 ・参加型学習の説明	◆事前に4人グループをつくっておく。 ◆参加者同士の学びの場であることを説明する。 ◆「参加・尊重・守秘」を板書しておく。
	5	「子どもの表情カード」を使って自己紹介をする		
		2 子どもの名前、学級、自分の名前、今日の子どもの表情をカードで紹介する。	■今日の子どもの表情は「子どもの表情」カードのどれでしたか。	
展開1	1. 子どもの表情から出来事や状況を考える			
	5	3 模造紙に展開例①②③の作業をする。	■展開例を参考に説明する。	◆並べ方に正解がないことを伝える。 ←付箋を一人4枚ずつ配る(ピンク)。 ◆出来事をできるだけ具体的に書く。 ←展開例④の作業 ◆付箋が貼られにくい場所もある。
	5	4 「子どもの表情」カードを子どものエネルギーの大きい順に模造紙に並べる。	■グループで話し合いながら子どものエネルギーの大きいと思う順に縦に並べてください。	
	5	5 貼られた表情から、どんな出来事があったかを考え、ピンクの付箋に書く。	■ <u>個人作業</u> です。こんな顔をしていたら、学校や家庭でどんな場面や出来事があったと思いますか。考えて付箋に書きましょう。時間は5分です。	
10	6 出来事を話しながら順番に付箋を貼っていく。	■グループで順番に説明をしながら、顔の横の上側に付箋を貼っていきましょう。		
展開2	2. 自尊感情を育む言葉かけを考える			
	5	7 日頃どんな「言葉かけ」をしているかをブルーの付箋に書く。	■ <u>個人作業</u> です。ピンクの付箋に書かれた場面の時、普段どんな「言葉かけ」をしていますか。ブルーの付箋に書きましょう。時間は5分です。	←付箋を4枚ずつ配る(ブルー)。模造紙に展開例⑤の作業をする。 ◆日頃、言っている言葉で書く。
	10	8 言葉かけの説明をしながら付箋を貼っていく。	■グループで順番に「出来事」のピンク付箋の下に、ブルーの「言葉かけ」の付箋を貼りましょう。	←展開例⑥の作業 ◆同じ所に重なる場合もある。
	5	9 自尊感情について理解を深める。	●進行役が資料を用い子どもの自尊感情の実態を紹介する。	←シール3枚ずつと自尊感情の資料を配る。

展開 3	5	10 「言葉かけ」の欄から、子どもの自尊感情を大切にしていると思える言葉を選ぶ。	■グループで、貼られた付箋の中から、子どもの自尊感情を大切にしていると思える言葉を選び、○をしましょう。	◆みんなで相談する。一つもない場合もある。
	10	11 ギャラリーウォークで、シールを貼っていく。	■他のグループを回り、良いと思う言葉かけの所にシールを貼りましょう。	←ギャラリーウォークで他のグループの活動を共有する。
	3. 自尊感情を育むために「今、伝えたいこと」を考える			
	10	12 これまでの活動を参考にグループで話し合い、子どもに「今、伝えたいこと」を考える。	■グループで、これまでの活動を参考に、子どもの自尊感情を育むため、「自分は大切にされている」と感じられるの「今、子どもに伝えたいこと」を考えて書きましょう。	◆他のグループの付けたシール評価も参考にして話し合い、花丸の欄に書く。 ←展開例⑦の作業
	5	13 その場で順番に発表する。	■各グループより、その場で発表していただきます。	◆話合いで出た意見も聞く。
まとめ	5	14 ファシリテーターがまとめをする。	■日頃の子どもの顔をどれくらい見ているでしょうか。メールやラインでは表情を知ることができません。 ■「いつも見守っている」ことや「大切に思っていること」を子どもの顔を見て伝えることで、子どもの自尊感情は育まれ、いじめに向かわない子どもになっていくと思います。	◆グループで考えた「今、子どもに伝えたいこと」と自尊感情の関係を整理しながらまとめる。 ◆きちんと顔を見て思いを伝えることで「安心」するなど。
		15 ふりかえりシートに記入する。		

【模造紙の展開例】

